

第 6 章	社会(歴史)	名前:		日 付	No.03
	鎌倉				

[問題 1]

モンゴル帝国について、各問いに答えよ。

- (1) 13 世紀はじめ、モンゴル民族を統一して国家をつくったのは誰か。
- (2) 5 代目のハン(王)となったのは、誰か。
- (3) (2)の人物は、1271 年に都を大都に移し国号を「元」とした。さらに、1279 年に中国のある王朝を滅ぼして中国全土を支配下に置いた。中国の何という王朝を滅ぼしたのか。
- (4) (2)の人物につかえたイタリア商人の名は、何というか。
- (5) (4)の人物は、日本のことを「東方見聞録」の中で、どんな国と紹介したか。

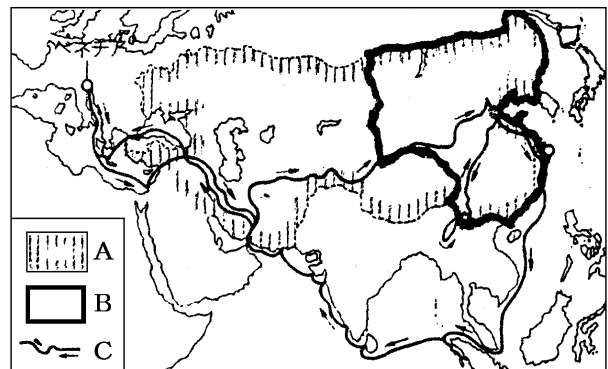
[解答欄]

(1)		(2)		(3)	
(4)		(5)			

[問題 2]

次の地図を見て、各問いに答えよ。

- (1) 13 世紀はじめに、地図中の A の範囲を最大領土とした国の名前を答えよ。
- (2) 地図中 B の国から、日本に国交をせまった皇帝は誰か。
- (3) ①地図中 B の国が、二度にわたり日本をおそったことを何というか。②また、このときの日本の執権の名前も答えよ。
- (4) 地図中 C の行路をとって、B の国の都を訪れた人物は、何という書物のなかで日本のことを紹介しているか。書物の名を答えよ。



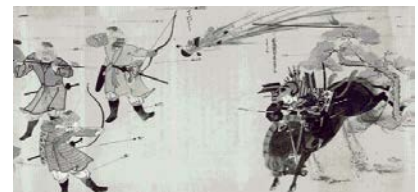
[解答欄]

(1)		(2)		(3)①		②		(4)	
-----	--	-----	--	------	--	---	--	-----	--

[問題 3]

次の各問いに答えなさい。

- (1) 右の絵に描かれている戦いを何というか。漢字 2 字で書きなさい。
- (2) (1)の戦いで、日本側からみて、敵側の戦い方の特徴を 2 つ書きなさい。



[解答欄]

(1)		(2)	
-----	--	-----	--

[問題 4]

次の文の()にあてはまる語句を、語群から選んで答えなさい。

鎌倉時代の中ごろから農業技術が進歩し、農業生産は高まりました。(①)を使った耕作や、裏作に麦を作る(②)が広まり、肥料も普及しはじめました。また、桑・うるし・茶など、原料や商品として売る(③)の栽培も始まりました。

農業生産が高まるとともに、商業もさかんになり、農村にも(④)ができました。農民は(④)が開かれると農作物を売ったり、農具や衣料品などの日常生活用品を買ったりするようになりました。商業の発達につれて、貨幣(銅銭)が広く使われるようになりました。貨幣は、このころの日本では作られず、主に(⑤)などの中国の貨幣を輸入して使用しました。また、貨幣の流通とともに、京都や鎌倉には、銭を貸す(⑥)も現れました。

(語群) [高利貸し 市 牛馬 二毛作 宋 元 商品作物]

[解答欄]

①		②		③		④	
⑤		⑥					

[問題 5]

右の絵の説明として最も適当なものはどれか。下から1つ選んで記号で答えよ。

ア 貴族の住まいである寝殿造の建物がみられる。

イ このような商業街は、当時はまだ鎌倉や京都、奈良などのにぎやかな場所でしかみられなかった。

ウ これは京都の市街のにぎわいを描いたもので、このような定期市は月に6回開かれた。

エ 月3回開かれた定期市の様子を描いたもので、品物を売る商人と小屋などがみえる。



[解答欄]

[問題 6]

次の各問いに答えよ。

[資料]

所領の質入れや売買は、御家人の生活が苦しくなるものなので、今後は禁止する。(中略) 御家人以外の武士や庶民が御家人から買った土地については、売買後の年数にかかわらず、返さなければならない。

(1) 上の資料を何というか。

(2) また、この目的を説明せよ。

[解答欄]

(1)		(2)	
-----	--	-----	--